

一般質問

2月定例会では、23人の議員が質問を行いました。本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。なお、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。

竹内南貨客船ターミナル

安田 優子 議員



選挙区 境港市 会派 自由民主党

問 クルーズ船の寄港が年々増加し、今年も続々オファーが入っている。竹内南地区貨客船ターミナル整備事業の27年度予算化に向けた見通しは。また、この事業について「境港みなどを核とした官民連携による賑わいづくり検討委員会」が示した賑わいづくりの核としての水族館構想について問う。

答 夢みなと博の時の夢を実現する最大のチャンスで、総力を挙げて頑張る。水族館はひとつの夢の形として計画に示されたので、重要な選択肢として検討に供したい。

自衛隊道路のバイパス整備

内田 隆嗣 議員



選挙区 米子市 会派 自由民主党

問 平成26年から31年の5年間で、県道・東福原樋口線（自衛隊道路）を三柳マルイの交差点から博愛病院産業道路までバイパス整備が必要だ。知事の所見を伺う。

答 県道・東福原樋口線（自衛隊道路）についてはバイパスを整備して、それを産業道路方面にタッチさせる。卸売団地からずっと西のほう、境港の方に行くと、路線が博愛病院辺りで折れ曲がり、家屋も連たんしているので、渋滞を惹起している。問題を解決するためにバイパスを整備していきたい。

県内技術材で公共木造建築

森 雅幹 議員



選挙区 米子市 会派 絆

問 公共木造建築は、県内で構造

解析できず、結果として県外の設計事業者に発注されている。大断面の集成材も、県内では加工できず、県産材を県外で加工している実態だ。県内技術・県産材をより使う発注をするべきだ。

答 ラーメン構造の大型構造材は、県外の事業者しかつくれなかった。設計段階、その前段の発注段階で、県内の技術を見ながら、建物の方等も考えていくよう庁内に徹底して参りたい。趣旨を新年度予算の執行の中で生かしていきたい。

男女共同参画推進を問う

浜田 妙子 議員



選挙区 米子市 会派 絆

問 ①今、女性登用が声高に叫ばれるが、過去の取組が不十分であり、妥協せず意識的な政策が必要。また、全庁の旗振り役は誰か。民主主義や人権教育、教師の果す役割は②県立産業人材育成センターの女性受入れ環境を整備すべき。

答 ①根源的に見直す必要があり副知事を核に妥協なく渾身の努力で社会を引っ張る（教育委員長）教師、教育の役割は大きい。教育

委員会として議論を進めていきたい②福祉との連携等改善余地があり順次検討する。

米の生産調整ジビエの普及

福田 俊史 議員



選挙区 八頭郡 会派 自由民主党

問 ①米の生産調整、減反の見直しが議論される中、中山間地など条件不利地域における対応策は②ジビエ料理を更に普及させるために獣肉解体処理施設の安全衛生基準やトレーサビリティの導入等県独自の認証制度を作ってみては。

答 ①地域でその土地に合った工夫をしなければならぬ。県独自の活力増進プランで農業所得向上を応援していく②鳥取型ジビエのブランド戦略を更に展開する為に全国の基準づくりをリードするような先進的な取組を強めていく。

会派正式名称

自由民主党：鳥取県議会自由民主党
 絆：鳥取県議会会派「絆」
 希望：鳥取県議会会派希望
 公明党：公明党鳥取県議会議員団
 共産党：日本共産党鳥取県議会議員団

女性の活躍とスポーツの力

上村 忠史 議員



選挙区 西伯郡 会派 自由民主党

問 ①安倍政権は女性の活躍を成長戦略の中核に位置づけているが現状と認識を知事に伺う②4月からスポーツ振興監を知事部局に新設するが知事の所見は③教育委員会は学校体育に専念できるが青少年の体力強化の取り組みは。

答 ①子育て条例を提案。県民、企業、団体、行政で分担していく②スポーツリゾートづくりを進め国内外に発信したい③(教育長)運動する子、しない子の二極化、学校間での能力に差が出た。組織改革を子どもたちの体力向上につなげたい。

駒山開通と新農業政策

広谷 直樹 議員



選挙区 岩美郡 会派 自由民主党

問 駒山バイパス開通で、因幡・但馬全体が、さらに一体化した。地域活性化への取り組みが必要では。

答 山陰海岸ジオパークとして、従来より地域の一体性が飛躍的に高

まり、連帯感を持った取り組みが自然な形で出来ており大変心強い。

問 40年続いた減反政策の見直し等、新たな農業政策になるが、まず担い手の育成が必要ではないか。

答 農政の転換に合わせて、マイナスではなくプラスに転じるきっかけづくりをしたい。集落営農、担い手の育成に政策の重点を置きたい。

動物愛護の更なる推進を

濱辺 義孝 議員



選挙区 鳥取市 会派 公明党

問 ①平成20年度に策定した県動物愛護管理推進計画のこれまでの成果をどう総括しているか。②動物愛護の活動には多くの人材・人脈が必要。県動物愛護条例を見直し、市町村との連携、協力体制を更に推進すべきと考えるが知事に伺う。

答 ①平成29年が目標年次だが、動物の引取件数はこの5年間で約6割削減でき、数値目標はある程度達成してきている②条例の見直しについては、議会の総意があればやぶさかではない。

土曜授業等と県立博物館

岡治 英夫 議員



選挙区 倉吉市 会派 絆

問 ①土曜授業等の実施では、教員の多忙の解決を図り増員が必要なら県が予算措置すべきだ②県立博物館のあり方検討の方針が後退した。検証作業は早期に終了し、整備方針の検討にかかるべきだ。

答 ①倉吉東高は教員定数を増やす。試行実施して市町村教育委員会の意見も聞き、必要な条件整備に協力したい(教育長)幅広い視点で教職員の多忙化解消の具体策を打ち出したい②(教育長)博物館の検証作業は1年程度かけて行い、その上で整備方針を議論したい。

元気な農業へ支援策充実を

横山 隆義 議員



選挙区 東伯郡 会派 希望

問 食糧生産だけでなく、環境保全や保水など農地は多面的機能を持つ。①農家への直接支払い制度の改正②農地中間管理機構の評価③農家の跡継ぎ支援策を問う。

答 ①農地維持支払いを新設し、農業者だけでも対象となり、国の予算も1.7倍。県として取り組みを強化させていきたい②県独自でもやってきた。国の施策も活用し、農地の流動化を進め、耕作放棄地対策を進めたい③新規の親元就農者に対し、55歳を限度に月10万円の支援制度を新設した。活用願いたい。

管理型最終処分場を問う

森岡 俊夫 議員



選挙区 境港市 会派 希望

問 計画では、総収入を上回る施設整備費となっており、47年の事業期間の中で県は38億円の巨額の補助をする。本当にこの計画を健全・妥当と判断されているのか。

答 県内のリサイクルの状況や搬入見込みを手堅くみた結果と判断している。ご理解いただきたい。

問 事業者の入札金額が下がれば補助金額も減額するのか。

答 入札減は補助金も縮減する。

問 民間企業が赤字を出した場合の県の考え方はどうか。

答 事業者の責任で努力を願う。

高野連の処分 教育上配慮は

長谷川 稔 議員



選挙区 倉吉市 会派 無所属

問 高野連加盟校が不祥事を起こした場合、自ら反省点を知り、立ち直りの機会を与えることではないか。長期に及ぶ処分は却ってあきらめや恨み、不信感を助長しないか。三年生には最後の大会となる夏の大会に全加盟校の勢揃いを夢見る。

答 議員の指摘には共感できるし、県民も同じと思う。県内2校の経緯は立ち直りの機会があったが改善が図られなかったため、処分を受けたと思う。県教委としても職員が理事にあり、より理解いただける方法がないか話し合ってみる。

厳しくなる 地方財政

伊藤 保 議員



選挙区 東伯郡 会派 絆

問 平成26年度の地方財政は地方法人特別税・同譲与税の縮小廃止、地方法人住民税の国税化・地方交付税化、自動車関係税の再編成と代替財源、固定資産税・償却資産

の大幅減税の可能性、地方交付税の歳出特別枠・別枠加算の縮小廃止等と大きく変わるターニングポイントの年だと思いが所見は。

答 消費税の引き上げに合わせ、税財政制度をガラガラポンして一括の制度改正が想定される。地方六団体が連携し、注視しながら主張すべきは十分主張したい。

子育て支援の 充実を

錦織 陽子 議員



選挙区 米子市 会派 共産党

問 政府の進める新制度の先取り0歳から2歳対象の小規模保育事業は保育資格がなくてもよいなど認可保育所より極めて低い基準だ。全員有資格とするよう国に求めるべきだ。保育料は全ての市町村で第1子から軽減をすべきだ。

答 無資格者は市町村が認める研修了者であればよく、国への要望はしない。保育料の無償化は市町村との共同作業だ。中山間地モデル事業で提案したが、今後とも市町村と協議をして子育てについて努力したい。

介護や教育に 老働を活かせ

砂場 隆浩 議員



選挙区 鳥取市 会派 希望

問 ①デイサービスがお泊りデイ化するなど地域包括ケアの問題をどのように把握しているか②高齢者の皆様に「老いの魔法使い」になっていただき、老働力で介護や教育を支えていただくよう提言したい。

答 ①実態調査中だが、デイサービスに月間20以上宿泊している方は県内で250〜300人。現在は旅館業法で対応しているが、ガイドラインのようなものを検討していきたい②議員のご指摘に従い、県内の各団体と連携を強化し、シニア人材の活用を図っていきたい。

認知症の予防 全県で目指せ

伊藤 美都夫 議員



選挙区 倉吉市 会派 希望

問 県内の認知症高齢者は約1万7千人。高齢者の5人に1人は認知症かその予備軍。早期検診で発症や進行を遅らせる体制を整備すべきでは。平成24、25年度開催の

経験と勘から理念と理論へ介護の転換を図る県版重症化予防実践塾を高く評価している。再開すべきだ。

答 市町村と協力し、早期発見や地域全体で支える仕組みなど県全体での支援体制が必要。早期発見のためのタッチパネル設置を予定している。実践塾は更に継続、発展できるように関係者と議論していく。

水族館構想と 更生保護支援

澤 紀男 議員



選挙区 米子市 会派 公明党

問 境港の水族館構想について、県民参加による公募債方式も参考にすべきと考えるが所見を伺う。

答 公募債等のアイデアについては今後の境港市との話し合いの中にも加え議論したい。

問 触法高齢・障がい者の入り口支援として司法福祉センター等の設置が必要と考えるが所見を伺う。

答 他県の事情や厚生労働省等と話し合い、更生保護関係者にもこのアイデアを共有したい。また、関係者間の支援知識の共有、ネットワーキングから始めたい。



看護師配置と 介護人材確保

銀杏 泰利 議員



選挙区 鳥取市 会派 公明党

問 ①国が進めようとしている7対1の看護師配置見直し②今後需要が大幅に増える介護人材の確保・養成の対策について問う。

答 ①県立病院については7対1看護の体制は維持できるが、病院によっては見直しが迫られるかもしれない。各病院とも対話をしながら、スムーズな移行ができるように、県としてもケアをしていく。
②介護福祉士等の就学資金貸付事業における貸付枠の検討をしながら、より一層介護人材確保の取り組みを進めていく。

米軍機、医療 ゴミ問題

市谷 知子 議員



選挙区 鳥取市 会派 共産党

問 ①県の米軍機飛行中止要請を防衛省が苦情にカウントせず。騒音測定器設置を求める②生活苦の中、障がい者特別医療無料化、無料低額診療事業の公立病院実施と院外薬局の対象化を求める③東部

ごみ処理施設の都市計画手続きで、知事は鳥取市と住民意見に基づく協議を。

答 ①苦情にカウントされなかったのは遺憾。国は米軍に毅然と対応を。市町村と連絡取り合い騒音測定器設置を国に求める②実施しない③法や県の判断基準に基づき住民意見の提出を求め役割を果たす。

中山間地の 水田農業

内田 博長 議員



選挙区 日野郡 会派 自由民主党

問 将来の中山間地水田農業には、さらに農地の再整備が必要で、そのための負担が軽減されるよう国に働きかけることが必要ではないか。また、水路の維持管理も負担が大きく、修理、改修の負担軽減も必要だと思いが、知事の所見を問う。

答 鳥取県は15%のかさ上げ補助を行っているが、それでも、まだ負担感があると思う。条件不利地にも配慮して負担調整するよう、国に要望していく。農業用施設の維持管理については、農林基盤交付金で補助率のかさ上げを実施している。

道路整備と 温泉街活性化

谷村 悠介 議員



選挙区 鳥取市 会派 無所属

問 鳥取西道路吉岡・青谷間が平成29年度完成予定だが、周辺道路の渋滞が予想される。周辺の道路・歩道整備が必要ではないか。

答 地元と協議し、対策をまとめ、鳥取鹿野倉吉線や金沢伏野線の改良事業、歩道整備を進めたい。
問 温泉地・温泉街のインフラ整備を含めた活性化について伺う。
答 浜村、鹿野温泉辺りでは、サーフィン、臨海学校などブルーツーリズムの推進で応援するなど、地元と協議し、温泉組合、商工会の取り組みを柔軟に支援したい。

高齢者との共 生を目指して

浜崎 晋一 議員



選挙区 鳥取市 会派 自由民主党

問 ①今後の超高齢化社会に対応するため、支え愛活動を一層充実すべきだと思いが如何か②全国健康福祉祭「ねんりんピック」は高齢者活動が活発化する契機となり地域への経済効果も高い。財政

的課題もあるが本県へのねんりんピックの誘致を検討してはどうか。

答 ①支え愛活動を支える人材の確保が課題。市町村等と連携しながら機運醸成と住民一体となった取組の促進を一層図っていききたい②まずは精力的に情報収集し、本県でも開催する方向で考えたい。

山陰新幹線 構想に疑問

福岡 裕隆 議員



選挙区 西伯郡 会派 絆

問 ①フル規格の新幹線整備は、ローカル線の存続を危うくする。そこまでして、新幹線が必要なのか②地域交通ネットワークの構築が急がれる課題と思うが知事の所見は。

答 ①国の調査を注視すると共に、調査費を計上したので御意見があれば、変更も考えていきたい②鳥取空港5便化に伴い県境をまたいでの二次交通、米子空港と中部、東部を結ぶバス、様々な観光プランや地域のローカル交通を守り育てるプランも進行中。すぐにもやるべきという視点で取組んで行く。

